

医療用品 4 整形用品
一般医療機器 ギプス包帯
JMDN コード：33056000

スコッチキャスト プラス

再使用禁止

【警告】

＜使用方法＞

1. テープの層数を必要以上に多くしないこと。
[テープ層数が多いほど、硬化時の発熱が高くなり、熱傷を起こすおそれがあるため。]
2. 完全に硬化するまで、無理な力や体重をかけたりしないこと。
[本品が変形、破損し、けがをする恐れがあるため。]
3. 本品切断時には、必ずマスク等を着用すること。
[カット時に生じるガラス繊維粉塵は吸入すると体内に蓄積し、呼吸器疾患を起こす可能性があるため。]

【禁忌・禁止】

＜使用方法＞

1. 再使用禁止
2. 25℃以上の水は使用しないこと。
[水温が高いほど、本品に使用されているポリウレタン樹脂の硬化時の発熱が高くなり、熱傷を起こす恐れがあるため。]
3. 硬化前の本品を素手で触れないこと。また、硬化前の本品に直接肌が触れないようにすること。
[樹脂の付着並びに皮膚かぶれの可能性があるため。万一、樹脂が付着した場合は、樹脂が硬化する前にアルコール等の有機溶剤で拭き取ること。]

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造
本品は、ガラス繊維ニットにポリウレタン樹脂を含浸させたもので、1 ロールずつ防湿包装されている。
2. 原理
本品は、ガラス繊維ニットに含浸したポリウレタン樹脂が水と反応することで、硬化して患部を固定できる剛性と強度を発現する。
〈外観〉



【使用目的又は効果】

プラスチックとガラス繊維から構成される、骨折、疾患のある関節または疼痛のある捻挫を固定するための機器である。

【使用方法等】

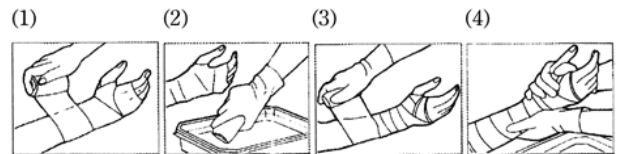
《使用方法等に関連する使用上の注意》

- ・使用前に防湿袋の上からロールが柔らかいことを確認し、硬くなっていたら使用しないこと。
- ・ゴム手袋を着用後、本品を開封すること。
- ・患部に腫脹、感染創、潰瘍、発疹等がある患者には慎重に適用すること。また、必要に応じて開窓する等の適切な処置をして、使用すること。
- ・21～24℃の水を使用すること。

装着方法：

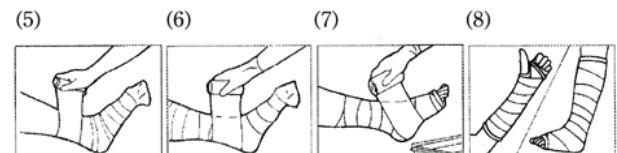
1. 1 巻を使用する場合

- 1) ストッキネットとキャストパッドで下巻きを行う。図(1)
- 2) 本品使用の直前に防湿袋から取り出し、テープを水中でもんで水を含ませてから巻く。図(2)
- 3) テープ幅の 1/2～2/3 くらい重ねながら、ころがすように巻く。巻いている途中、または巻き終えてから、ストッキネットを折り返すと、キャストの縁が直接皮膚にあたるのを防ぐことができる。図(3)
- 4) 巻き終わった後、ゴム手袋を水につけて、よくモールドイングする。テープの端は、10 秒くらいしっかり押さえる。図(4)



2. 2 巻以上使用する場合

- 1) ストッキネットとキャストパッドで下巻きを行う。図(5)
- 2) 1 巻目のテープを水に浸さず巻く。図(6)
- 3) 2 巻目からはテープを水に浸してから巻く。あとは、1 巻使用例と同じように処理する。図(7)
- 4) 巻くテープの層数は、荷重のかからない部位で 2～3 層、荷重のかかる部位で 4～5 層が目安である。図(8)



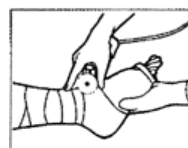
3. セットタイム(水に浸してからテープを巻き終え、モールドイングを行った後、キャストから手を放しても形が維持される程度に硬化するまでの時間)の調節

- 1) テープを水中で 3 回もんだ場合のセットタイムは約 4 分である。
- 2) セットタイムを長くしたい場合は、水中でもまずに使用する。水中でもまずに 2～3 秒間浸してから巻いた場合のセットタイムは約 5 分である。

除去方法：

本品の除去は、ギプスカッターで行うこと。図(9)

(9)



【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 本品装着中、及び装着直後は、発熱を伴うので、患者が熱さを訴えた時は直ちに本品を外すこと。

- 2) 本品使用中に、痛み、しびれ等の症状が現れた場合には、直ちに医師に連絡するよう患者を指導すること。
 - 3) 本品使用中に、皮膚障害と思われる症状が認められた場合は、直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。
 - 4) 本品は水硬化性ポリウレタン樹脂を使用しているので、防湿袋が破損している場合やロールの一部が硬い場合は使用しないこと。
 - 5) 防湿袋を開封した時点から直ぐに硬化が開始するので、直ちに使用すること。
2. 不具合・有害事象
 - 1) 本品を長期間装着する場合、発汗等により、皮膚障害が発生する可能性がある。定期的な観察をすると共に、異常を感じた時は、直ちに医師に相談するよう患者を指導すること。
 - 2) 本品の過度な締めつけにより、循環障害や神経麻痺が発生する可能性がある。症状が認められた場合は、直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。
3. その他の注意
 - 1) はれや出血のある部位には、ギプスシャーレ等、その症状に応じた処置を行うこと。
 - 2) 樹脂が皮膚や衣類に付着しないように注意すること。必要に応じて、ゴーグルや長袖作業着等の防御具を着用すること。皮膚や器具に付着した場合は、すぐにアルコール等の有機溶剤を使って拭き取ること。
 - 3) 長期間保管すると、温度・湿度により自然硬化することがあるので、先に購入したものから順次使用すること。
 - 4) 未開封の本品を、乱暴に取扱わないこと。防湿袋に穴があき、空気中の水分が袋内に流入し、テープが硬化して使用できなくなることがある。
 - 5) 樹脂の偏りの原因となるので、長期間、箱を縦積みしたり、防湿袋を立てて保管しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
室温
2. 有効期間
使用の期限：個包装及び外箱に記載。[自己認証（製造元データによる）]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

名称：ソルベントムイノベーション株式会社
TEL：0570-000-470（カスタマーコールセンター）